

ひろば大代

NO. 210

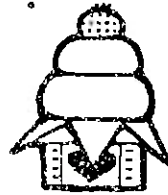
大代公民館

「年頭のご挨拶」

公民館長 市原仁郎

新年 明けまして

おめでと
うござい
ます。



皆様お揃いで新春を迎えられた事と心よりお慶び申し上げます。

昨年は「都市とふるさとを結ぶ交流会」等、公民館が主催した様々な行事を無事に終える事が出来ましたこと、町民の皆様のご協力とご指導によるものと深く感謝申し上げます。

本年は「大江高山コミセン」建設への話し合いを強力に押し進め、一歩前へ出なければなりません。町民の団結力が問われるところであります。一月早々より接衝に入る予定です。

「大代バイパス」は実施設計と用地買収の予算が計上されると聞いておりますが、これは地権者の協力がなければ前へ進みませんので、将来の大代を

考えた場合、この大型道路の完成を目指して頑張ってください。

これが出来ると、念願の祖式大代間のバイパス化が計られることとなります。現在この区間は車で十分十二分位かかりますがこれが完成しますと、大田く大代間は二十五分で結ばれることとなります。そうするといろいろな面で大代も変わって来ることになりましょう。皆様と共に頑張ってください。

今年も事故の無い健全な生活が出来ますよう祈念致します。

「新年を迎えて」

連合自治会長 高村 重

町内外の皆様、明けましておめでとうございます。

昨年は大代町では川上に通学バス乗り入れや、小学校建設、大家バイパス基本設計で慌しく一年が過ぎました。そして都市交流会や高山の草刈り、文化祭等、町民の皆様には大変協力していただき無事一年が終わりました。本当に有難うございました。

今年も小学校の竣工、体育館の建設コミュニティセンターの具体化など盛り沢山の課題があります。

今年も皆様の一層のご協力をお願いし、一年良い年でありますようお願い申し上げます。

「新年のご挨拶」

東京石見高山会会長 田中憲経

ご郷里の皆様新年あけましておめでとうございます。

昨年は景気の盛り上がり欠ける中〇―157騒ぎや薬害エイズ事件、果ては福祉を食い物にする高級官僚の不祥事件が発覚するなど中央官庁からむ事件が頻発、その外にも官官接待、空出張など税金の不正使用、民間でも銀行や企業の倒産、リストラで失業者の増大など憂うつな気分から抜けきれないまま越年しました。

政府や国会もようやく重い腰を上げて行財政の改革に乗り出す構えですが今度こそ利権政治を追放し、総論賛成各論反対でなく実の有る改革を実現してもらいたいと切に願っています。

否応なしに進む高齢化社会に対応して福祉の充実を図ることが今最も大切な政治課題ではないかと考えますが、このためには政策選択上効率や利便性を多少犠牲にしてもやむをえないのではないかと思えます。

人口の減少と高齢化により大田市でも問題は山積みと思えますが、緑豊かな環境に恵まれた「福祉の町大田市」として、全国に誇れる存在として発展していくことができれば素晴らしいと夢みております。今年こそ目に見える福祉増進の年として明るい一年になって欲しいと願ってやみません。

皆さまのご多幸とご健勝を心からお祈り申し上げます。

「年頭の挨拶」

関西高山会会長 田辺正義

新年明けましておめでとございます。

故郷大代の皆様には、お元気で良い年を迎えられたことと存じあげます。関西高山会も第五回を終え、今年は

六月八日に第六回を迎える事になりました。前市原会長のもとで、ここまでふるさとを思う会がまとまったことを感謝いたしております。

昨年、一昨年と細川、羽田、村山、橋本政権と四度も内閣が変わるといって政治不安の中で、国内経済も不況のもとに低迷し、底の浅きを露呈している現在です。行政改革、改革と出発した新橋本内閣も、大蔵、通産、厚生、各省とも日本のため、国民のためであるべきものが、政治、官僚の汚職事件、これでよいものかと本当に考えさせられます。

また昨年は〇―157で日本列島は食に対し、大不安を受け景気回復を低下させました。現在でもまだ原因不明今年の夏は充分気をつけ、再発を防止しなければなりません。

さて、本年も日本経済が直面する構造変化の同時進行の身気回復とあつてすんなりと本格的な回復軌道には、乗りにくい年だと思っております。

せめて大代の皆様には、「運」と「ツキ」のある良い年になりますことをお祈り申し上げます。

「成人の日を迎えて」

柿田 山下陽子

今年、成人式を迎えることになりました。もう二十歳になってしまったんだなと思えました。

学生の頃、二十歳というと大人だなと思っていました。だけど、いざ自分が二十歳になってみると今までと何一つ変わりません。

地元就職してみると、大田は若い人が少ないなと思いました。同級生もみんな大学の進学などで県外に出てしまいました。地元に残って、そばに友達がいけないというのは淋しいものです。地元には、地元のいいところもあるので、進学して就職するときは、ぜひ大田に帰ってきてほしいと思います。そのためにも、大田に若い人が働ける場所、遊べる場所が出来たらいいなと思います。

私も県外で頑張っている人達に負けないように、早く一人前の社会人になれるように努力したいと思います。



「ピラ高山一日体験記」

本郷 森田義徳

十一月の初め、自治会長の曾根さんが来宅されて「来る二十二日、ピラ高山の一日体験入所の企画をされたがあなたに参加してくれ」との事で私は喜んで返事をしました。

当日は九時半受付、順次看護婦さんが体温、血圧脈拍等をはかって簡単な健康チェックをして頂き、十時から入所式が行われ、その挨拶の中でピラ高山の利用率の低さが悩みとのお話しもありました。

十時半から所内の見学、リハビリ室調理室、浴場、そして寝台ごと入浴できるシステム、このシステムは立派な家が優に一軒建つ程のお金が使われているとの事。又身体の不自由な人を数日預かりお世話される様に完備された個室が数室ありました。

十一時～十二時迄入浴の時間、床暖房の効いた脱衣室、手すりや段々の付いた広い浴槽に気持ちよく暖まり、広々としたロビーで雑談。

十二時昼食、当日の昼食は祖式局の御厚意とか、御馳走様でした。午後は講師先生のお話を聞き、二時二十分から座談会で山根所長さん、石原祖式連合自治会長等を中心にピラ高山の利用度向上等種々多様な意見が述べられました。特に大代町は西部四か町の中で最も高齢化が進んでいるのに、入所登録者は小人数との事。この件についてはピラ高山が開所して日数も浅くこれから追々と多くの人が登録される事と思うの意見があり、ピーアール不足？私共の認識不足等々多くの意見が述べられました。何はともかく多額のお金を費やし、多くの方々の御心労と御努力で立派な施設が私達高齢者を対象に出来たのだから、充分に活用させて頂きながら、三時過ぎピラ高山を後にした次第です。

「旬を求めて」

関西高山会会長 田辺正義
料理研究家



その四「黒豚」

最近、豚肉で「黒豚はおいしいですよ」とよく耳に思うと思います。今までの白豚とどのように差があるか述べてみることにします。

野生の猪が家畜化したのが豚であることはよく知られています。古来、最も早く多量に豚を飼育してきたのは中国人でした。十八世紀、イギリス人技術者が中国の豚を本国に持ち帰り、改良した結果、出来たのがヨークシャー種（白）とパークシャー種（黒）です。明治時代になってわが国にもたらされました。

現在、日本ではヨークシャー種にいろいろな種を掛け合わせて、多産、早育に改良された豚が主に飼育されています。

一方、黒豚として有名なものに鹿児島県の薩摩黒豚があります。そもそも東南アジアの豚は黒くて小さく、わが国に入ってきたのは十七世紀、島津藩主・家久公が沖縄から輸入したのが始まりです。明治以後、洋種豚が輸入され、同じ黒色のパークシャーと交配させて改良が重ねられたのが薩摩黒豚で

す。

黒豚のとんかつを食べると、なんと一切れ口に入れると脂が穏やかに広がり、それが優れた味わいとなります。普通は嫌がられる脂身が黒豚の場合おいしさのもとになっているのですから驚きです。切り口を見ると見慣れた半透明の脂身ではなく、白身の層が赤身の層と混じり合っています。白身は赤身に比べて融点が高いので、衣の中でも溶けずに形を保っていられるのです。まさに、黒豚の価値はこの白身にあるのです。

さていったいどう飼育すれば、こんな素晴らしい白身を持つ黒豚ができるその秘密は餌にあります。サツマイモです。色が白く融点が高く、水分含量が少ない脂肪を形成するには、サツマイモに限るそうです。トウモロコシ、コーリヤンが主の配合飼料では脂肪が黄色になり典型的な脂身になってしまいうそうです。

いいことづくめの黒豚ですが、ただ一つ問題なのは経済性です。ヨークシャード種が一度に十〜十二頭も子を産むのに比べ、黒豚は八〜九頭。飼育豚は

年に二回、しかも二〜五年は続けて産むので、総数にして十二頭以上の開きが出てきます。出荷までの日数も、白豚が五〜六か月なのに対して黒豚は八か月。そして餌のこと。やはりおいしいものを育て上げるには、それだけ手間暇がかかるという事なのでしよう。

「大代高山会受賞のおしらせ」

「小さな親切」実行章

大代高山会 殿

青蓮社の親切なご行為は現代の社会にはほのぼのとした光を与えるものであります

ここに「小さな親切」実行章を贈呈し深甚の敬意を表します

平成八年十二月十五日

大代高山会 代表 森

代表 森



大田市久手町の原田萬里さんの御世話により、東京都千代田区に本部のある社団法人「小さな親切」運動本部から、毎年十月に行っている大江高山の登山道草刈りに対して、上記の通り実行章を頂きました。

* 一月の行事予定 *

◆7日(火)編集委員会

◆11日(土)あすなろ句会

◆12日(日)福祉弁当

◆17日(金)町内書き初め展示

皆さんの出品を待っています

◆21日(火)JA健康診断

◆23日(木)連合自治会

★——★おしらせ★——★

◎社協大代支部から

植松 金原順子様

下市 濱 宗宏様

川上 渡井シヅヨ様

香典返しに替えて金一封の御厚志を頂きました。厚く御礼申し上げます。